



浜松は織物王国だった!

世界に誇る“織り”と“染め”の技術
「made in 浜松」はあなたのすぐそばに

連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の初期の舞台地となり、話題を呼んだ浜松の繊維産業。風になびく注染そめの反物が登場し、綿織物の産地という印象を持った方は多いのでは。

温暖な気候と豊かな水源に恵まれた浜松は、江戸時代から綿花の栽培を通じ織物業が盛んとなった。明治時代になると、織機や染色技術が発達し、「遠州織物」の名は全国へと広がっていった。やがて、繊維産業は浜松の基幹産業へと成長し、地域の発展の礎を築いていったのである。

その後、海外製品の流入などにより生産数は減少したが、遠州織物ならではの新品の開発や販売ルートの拡大など、企業や地域の努力により、認知度は高まっている。現在、パリエーションやミラノコレクションで活躍するトップブランドや大手アパレルメーカーなどにも多く起用されている。世界レベルの一流の織物が、浜松で作られているのだ。

遠州織物とは…静岡県西部地域で織られるすべての織物の総称。綿を中心に、綿と絹や綿と化学繊維など、種類の異なる糸を用いたさまざまな織物がある。注染ゆかた地・別珍・コール天など特色ある織物も含まれる。

いとへんの街 浜松発 この夏の 過ごし方



いよいよ夏本番。暑さに負けることなく、この夏を目一杯楽しむために…。
いとへんの街・浜松から、夏だからこそ楽しみたいファッションとともに、
とっておきの過ごし方をご提案。そもそも、なぜ浜松が「いとへんの街」なのか？
その秘密をひもとけば、これまで体感したことのない、新たな夏の景色が広がるかも！

※いとへん(糸偏)…「紡績」「織布」といった、糸偏の付く漢字を使う業種のこと。
糸や生地、付属材料からアパレルまで、繊維に関わる産業の総称。

「ものづくりのまち・浜松」の ルーツは繊維産業!?

浜名湖畔で生まれた豊田佐吉(後のトヨタ創設者)が1896年に木製の力織機を発明、その後、鈴木道雄(後のスズキ創設者)が「鈴木式織機」を完成させたことなどで、繊維産業は機械化が一気に進み、基幹産業となっていく。古くから「ものづくり」を基盤に成長してきた浜松には、高い技術を持つ職人が育つ土壌があり、その技と精神は現在の繊維業界へも受け継がれているのだ。

▶ PICK UP スズキ歴史館

スズキは1909年に創業、1920年に織機メーカーとして設立した。スズキ歴史館には、初代社長「鈴木道雄」が発明した織機が展示され、当時の様子を知ることができる。このほか、創業以来の多くの製品や現在のクルマづくりの様子が紹介されている。



浜松市南区増楽町1301 ☎053-440-2020 ※予約制(電話またはインターネットより予約)
時/9:00~16:30 休/月曜・年末年始・夏期休暇等 料/無料
<https://www.suzuki-rekishikan.jp/>